

静岡県の 学校図書館

学校 図書館 情報①

令和4年度静岡県図書館大会

静岡県は例年、読書活動の一層の推進を目指して研修し、参加者相互の交流を深めることを目的に、県教育委員会・県図書館協会・県読書推進運動協議会の共催により、静岡県図書館大会を実施しています。令和4年度大会の概要は次のとおりです。その他詳細は、「静岡県図書館大会」ホームページをご覧ください。

【開催日時】 令和4年11月21日(月)

【会場】 グランシップ

【申し込み期間】 10月7日(金)～10月31日(月)

【参加費】 無料

【問い合わせ先】 静岡県立中央図書館企画振興課

【電話番号】 054-262-1246

URL : <https://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/toshokantakai/2022/index.html>

※子どもの読書や学校図書館に関する分科会は次のとおりです。ぜひご参加ください。

第3分科会：幼児・児童に対するサービス

「科学絵本は楽しい！「かがくのとも」の作り方」

講師：山形昌也氏(福音館書店書籍 編集部部長)

第4分科会：学校図書館

「本の読み方を学ぼう～点検読書をやってみよう～」

※持ち物：未読の新書1冊

講師：木下通子氏(埼玉県立浦和第一女子高等学校 担当部長兼主任司書)

資料 案内①

1人1台端末環境下における 学校図書館の積極的な活用及 び公立図書館の電子書籍サー ビスとの連携について (文部科学省)

令和4年8月2日、文部科学省から、各都道府県図書館や学校図書館担当課長などに向け、1人1台端末環境下における学校図書館の積極的な活用を求める事務連絡が発出されました。

令和4年9月発行

発行：静岡県総合教育センター

総務企画・ICT推進課生涯学習推進班

電話：0537-24-9715

メール：sogokyouiku-soumuict@pref.shizuoka.lg.jp

研修 報告

令和4年度希望研修『情報リテラシーと学校図書館』

令和4年6月3日、センターでは研修『情報リテラシーと学校図書館』を実施しました。

午前中は、県立中央図書館・西澤教育主査の指導の下、端末を使用し、データベースやウェブページを用いた情報収集について演習を行いました。

午後は帝京大学の鎌田教授から、子どもの情報活用能力及び問題発見・解決能力の育成には、これまでも学校図書館で取り組まれてきた読書活動や探求活動が有効であることを、実例を踏まえて詳しくお話しいただきました。また演習では、探求的な学習を実践するために重要となる課題設定について、ワークシートや資料を使用しながらご指導いただきました。

終了後のアンケートでは「探求授業の課題設定に役立つ内容だった」などのご意見をいただき、実りある1日となりました。



この文書では、児童生徒の学習活動の充実のためには、書籍・新聞・雑誌・インターネットなどを効果的に組み合わせ、活用することが重要とされており、多様な情報メディアを所蔵する学校図書館の積極的な活用を求めていることが示されています。

文部科学省のホームページに本文が公開されていますので、詳しくはそちらをご覧ください。次の二次元バーコードからご覧いただけます。



学校
図書館
情報②

【オンライン】児童文学基礎講座
(国立国会図書館遠隔研修)

国立国会図書館では、各種図書館職員の業務に役立つ研修動画を、YouTube「国立国会図書館公式チャンネル」内で提供しています。この中には、子どもの本に関する研修動画も複数公開されています。特に次の動画は、令和元年11月に国際子ども図書館で開催された「児童文学連続講座」内の講演を基に作成され、令和4年6月に公開されましたが、子どもの読書活動推進に参考となる内容です。興味のある方はご覧ください。

【問い合わせ先】

国立国会図書館 関西館 図書館協力課 研修交流係
URL: <https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/remote/index.html>

講演:『この本よんだ? 小学校中高学年に向けて』

講師: 白井澄子氏 (国立国会図書館客員調査員・白百合女子大学教授)

※肩書は当時のものです。

内容: 学年が上がるにつれ本離れが懸念される小学校中高学年を対象に、この年齢の子どもたちの特性やおすすめの本について、専門の講師からご教示いただきます。



【参加費】 無料

【視聴方法】

この講演は YouTube を利用したオンデマンド配信形式で、いつでも視聴できます。詳しくは、国立国会図書館ホームページをご覧ください。上記の二次元バーコードからもご覧いただけます。

資料
案内②

1人1台端末環境下における
学校図書館の積極的な活用に、
パスファインダーが有効です。

子どもの情報活用能力育成には、書籍・新聞・雑誌・インターネットなどを効果的に組み合わせ、活用する技術を学ぶことが重要です。しかし、多様な情報メディアの中から、必要とする情報を取り出すことは容易ではありません。

パスファインダーは、あるテーマに沿って、調べたいことを自分で調べられるよう、資料を探す手助けをするための案内です。次の「お米について調

べる」は、小学生向けに作成した一例です。

印刷資料やインターネット資源をあらかじめ紹介することで、子どもは情報収集を効率的に進めることができ、また様々な情報メディアに触れることで、その特徴をつかむこともできます。

興味のある方は次の二次元バーコードを読み取り、パスファインダーの紹介ページ(センター作成)をご覧ください。パスファインダーの作成に役立つ図書・ホームページのリストなどを、添付ファイルにて公開しています。必要に応じてご利用ください。



「パスファインダー」№.5

パスファインダーは、みなさんが自分で必要な情報を調べられるように、調べ方や役立つ資料を紹介(しょうかい)するガイドです。

お米は私たちの生活に欠かせない食べ物です。種類や作り方、お米で作る食べ物のことなど、お米のことをいろいろ調べてみましょう。

1 百科事典、図鑑を見る&キーワードを考える。

書名	出版社	出版年	請求記号
米 ポブラディア情報館	ポブラ社	2006	616
日本の農業 ポブラディア情報館	ポブラ社	2007	612
朝日ジュニア学習年鑑 2019	朝日新聞出版	2019	059

はじめに、百科事典や図鑑を使って、おおまかなことを調べましょう。次に、くわしく調べるために、キーワードを考えます。「お米」だけでなく、他の言い方や、お米に関係のある言葉を集めます。

キーワード

米、稲(いね)、稲作(いなさく)、田んぼ、穀物(こくもつ)、脱穀機(だっこくき)、千歯こき、ごはん、もち、玄米、米粉(こめこ)、

2 本を検索する。

キーワードを使って、図書室のパソコンで本を検索しましょう。検索の仕方がわからなかったら、先生に教えてもらいましょう。

3 本で調べる

下の表は、お米に関する本を集めたリストです。書名を見て、自分の調べたいことが書かれている本を見てみましょう。請求記号を手がかりにして、図書室内をさがしましょう。

書名	出版社	出版年	請求記号
イネ 米ができるまで	あかね書房	2014	479
ぜんぶわかる!イネ しぜんのみみつ写真館	ポブラ社	2014	479
わら細工をつくろう	リブリオ出版	2003	583
お米からそだてるおにぎり おいしいごはんができるまで	偕成社	2015	596
農家になろう 3 イネとともに	農山漁村文化協会	2012	610
イネの絵本 そだててあそぼう	農山漁村文化協会	1998	616
すがたをかえる食べ物 2 米がへんしん!	学研プラス	2016	619

4 WEBサイトで調べる

お米のことを調べられるWEBサイトのリストです。

- ・「子どもそうだん」農林水産省
https://www.maff.go.jp/j/heyakodomo_sodan/
お米の作り方や品種のことが、Q&Aで載っています。
- ・「お米ものしりゾーン」米穀安定供給確保支援機構
https://www.komenet.jp/_qa/
「お米はどこからきたの?」「どんな栄養があるの?」といったお米の歴史や、文化、栄養など、お米の情報がたくさんついています。
- ・「子ども向けコンテンツ」JA全農
<https://www.zennoh.or.jp/consumer/kids/index.html>
田んぼの作り方、稲の育て方の説明がくわしくついています。